

恐れずに前へ

～昨日までの自分(達)を越えて～

発行者 姫野 倫理

感動をありがとうございました！

10月18日に実施しました学習発表会には、お忙しい中、多数ご来場いただきまして誠にありがとうございました。

今年度のテーマは「職場体験学習」。それぞれが各事業所で学んできたことを、いかにわかやすく、そして、いかに「面白く」伝えるかを全員で考えて準備を進めてきました。選んだ題材は「おおきなカブ」。誰もが知っているお話で、わかりやすさもありますが、それぞれのキャラクター設定や細かい動作など、昨年以上に様々な部分にこだわって、脚本を考えました。

昨年までと違うのは、脚本づくりや大道具づくりなどを、「できる限り自分たちの力で進めたこと」です。うまくいかないことや苦労することも多々ありましたが、ありがたかったのは、**お子様一人一人が楽しみながら、仲間と協力して練習に取り組んでくれたこと**です。また、昨年と比べて、「恥ずかしさを捨て全力でふざける」姿からも成長を感じました。

これまで担任をさせていただいた学級でも「学校行事」がもたらす「プラスの効果」を実感することがたくさんありましたが、人数が少なく、一人一人の役割が大きいこの度島中学校で行う学校行事は、得るものや達成感、そして感動もはるかに大きいと感じました。劇の中身はもちろんですが、**一つの目標に向かって、今まで以上に団結していくお子様たちの姿を見るのがとても嬉しく、充実感のある日々**でした。ご家庭でも、励ましや道具の準備など、様々な面でご支援・ご協力いただきましてありがとうございました。

度島中学校で行う大きな「学校行事」はこれが最後です。さみしい気持ちもありますが、この学習発表会で学んだことを「どう活かすか」が、言うまでもなく重要です。「感動のゴール」に向けて、日々粘り強くコツコツと、お子様とともに進んでいきたいと思えます。

学習発表会を通して、学んだことや成長したことはなんですか？



- ・脚本を作るのは難しかったが、翔斗さんや先生と協力して、身内だけが笑うような構成を作るのではなく、観客の目線からどうしたら、ウケを取れるか考えながら構成をすることができた。
- ・自分の演技について、だめなところやうまくできていないところを友人に聞いたりすることで、演技力を高めるとともに、内容の変更や追加をすることができた。
- ・恥ずかしいことがたくさんあったけど、恥ずかしがっていたら、ネタが伝わらないし、後悔することになるので演技や発表を堂々とするすることができた。

- ・恥ずかしさを捨てることです。平戸建設やユンボとして登場していつものようなことをして恥ずかしいこともあったけど観客の人たちに「楽しんでもらう」を目標として本番まで練習を重ねてきました。
- ・委員長になったことです。初めての委員長でわからないとこ、不安なことがあったけど先生方に聞いたり、自分で「どうしたらよいか、どうしたらわかりやすいか」などを考えながら進めることで、話し合いをスムーズに進めたり、原稿やポスターを作ったりなど委員長としての仕事をやり遂げることができました。



最高学年として下の学年の人たちにいいお手本のようなものを見せることができたと思います。また全員で演技指導をしあったり道具を工夫しながら作ることで学級全体が一致団結しい雰囲気でも学習発表会を迎えることができました。練習中にも教え合いながら楽しくすることができました。

今回学んだ全員で協力しあい何か一つの同じゴールに向かって進んでいくという力をこれからの受験にも活かして卒業まで学級全体でやらないといけないことやその他のことも頑張りたいです。